

事業所名

ステップアップ

児童発達支援支援プログラム

作成日

7年

1月

24日

法人（事業所）理念		ひとりひとりの個性を大切にし、遊びや学びを通じ、一歩ずつ「できる」を増やし、お子様の成長・自立をサポート致します。							
支援方針		個々の得意を伸ばし、苦手な事はスモールステップで繰り返し取り組む事で出来るを増やしていく。							
営業時間		平日	9時	0分	16時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
		休日	9時	0分	16時	0分			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	毎日の検温・手洗い等の実施、事業所独自の感染予防で健康の維持と予防に努めています。また、ご家庭や園との連帯により、お子様の心身異変の早期発見に努め、二次的障害（感染等）に至らぬよう努めています。お子様一人ひとりの変化を見逃さないように日頃から職員が細やかな観察を行っています。さら に、身辺自立や生活スキルの獲得については、お子様の課題をご家庭と共有し個別や集団での活動の両面から支援していきます。							
	運動・感覚	活動を通し様々な感覚を刺激することで、お子様の心身の発達を促していきます。様々な運動に取り組む事で身体の使い方を覚え、多彩な物事に取り組めるようになっていくと共に、集中して取り組めるようになっていきます。出来なかったことが出来る事で、本人が自信を得て、次に挑戦する力にもなっていきます。また、リトミックを通じてリズムに合わせて身体を上手に操る事やお友達と一緒に楽しむことを学んでいきます。手や指を使う微細運動にも力を入れています、日常生活に必要なスキルなどを中心に向上を図る事で心身の発達にも働きかける事ができます。季節に創作活動も行っていきます。お子様によっては特定の感覚等に困りごとがあり、配慮が必要な方もいらっしゃいます。ご家庭と情報を共有し、お子様の困りごとを理解し、なるべく過ごしやすい環境調整を行います。							
	認知・行動	お子様一人ひとりの認知特性を理解し、共有し、お子様自身の理解のもとに行動した事が成功体験につながるよう、支援していきます。お子様の「できた、分かった」増やせるよう職員の手厚いサポートで失敗に繋がらず成功体験を重ねられるように支援していきます。また、視覚、感覚から情報を汲み取りやすいお子様には視覚、感覚でアプローチし支援していきます。認知や行動の手掛かりとなる概念（色、形、重さ、大きさ）の習得も理解しやすいように工夫をし支援しています。							
	言語 コミュニケーション	お子様のコミュニケーション能力は理解と表出に分けて評価し、支援していきます。理解においては、言葉はもちろんのこと、表情やジェスチャー等でのサインを見逃さず、観察します。また表出においては、言葉だけでなく、出せる音や表情・指差しサイン等を駆使した表現方法を受け入れお子様なりのコミュニケーション手段で伝える経験を積んでいけるように支援していきます。語彙 数を増やしコミュニケーション能力の向上を図れるよう様々な方法を取り支援していきます。							
	人間関係 社会性	お子様のアタッチメント（愛着）形成の基盤となる大人との信頼関係を育み、安心基地としての役割を担い、アタッチメントの安定を維持できるよう支援していきます。遊びを通じて社会性いや対人関係の発達を支援します。まずは見本を見せ真似る事からスタートし感覚遊びや見立て遊びなどの対象遊びを経て、一人遊びからルールや役割を伴った協同遊びに移行し社会性の発達を促していきます。							
家族支援		支援中の本人の様子をしっかりと確認し変化を見逃さないようにしております。毎回行うフィードバックで本人の成長や本人が受容しやすい方法などお伝えさせていただきご家庭でもいかしていただけるようにしています。				移行支援		お子様の成長を見据え、ご家族様の希望する移行に向けた支援を行います。	
地域支援・地域連携		外部開催のイベントに積極的に参加し地域との連帯を図れるようにしていきます。				職員の質の向上		外部による研修を定期的に行い職員育成に力を入れております。職員の専門的知識向上のため、資格取得を積極的に行っています。	
主な行事等		親子参加型イベント等							